

進路だより 未来へむかって

発行日 平成28年4月12日
 発行号 H28 4月号
 発行者 新潟県立小出特別支援学校
 川西分校 進路指導部

入学・進級おめでとうございます。

今年は少雪のせい、桜咲く新年度の始まりとなりました。
 暖かな陽気の中、28年度を気持ちよくスタートしましょう。

将来に向けて大切な1年がスタートします。

- 1年生は、「学校に慣れ、卒業後の社会生活を見据える」
- 2年生は、「自分の得意なこと、不得意なことを見極め、自分を鍛える」
- 3年生は、「自分の得意なところを生かした進路を考え、実現を目指す」

それぞれの学年で、取り組むべきことがあり、1年1年が大切な積み上げです。
 卒業後の進路に向けて意識した取組をしていきましょう。



平成27年度の卒業生の進路についてお知らせします。

<卒業生の進路状況>

進路先	ケアセンターハーモニー、ケアステーション魚沼、長岡療育園 ワークセンターなごみ、ワークセンターあんしん 株式会社ノジマ、株式会社メイケン、宮本警報器株式会社、 特別養護老人ホームみさと苑、株式会社しんかわ、株式会社はぶき
-----	---

概要	人数	内訳
福祉サービス利用	3名	生活介護1・就労移行支援1・就労継続支援B型1
企業就労	6名	製造業3・高齢福祉1・卸売1・小売1

どの生徒も「自分は〇〇事業所に行きたい」、「企業就労したい」と夢をもってがんばってきた生徒たちでした。職場実習を行う度に、「社会で求められる力」と「自分も持っている力」の差を感じ努力してきた生徒たちです。

また、皆さんが障がいのある方の手帳を所持して、進路先に繋がりました。中には、それまでの自己理解と新たに気付いた自分への支援や配慮の必要性について葛藤があった生徒もいました。しかし、在学した3年間で、自分の得意なこと、不得意なこと、がんばればできること、支援や配慮をしてもらいたいことを確認して、自分の目指す進路や必要なツールを準備してきたところです。

これから、卒業生たちは川西分校に在籍する生徒の目標になるよう、社会でがんばってくれと思います。地域の中で応援をよろしくお願いいたします。

また在学する生徒の皆さん、保護者の皆さんは、職場実習を中心に取り組むべきことをしっかりと考え、1日1日を大切にしてください。

卒業するときに「立派な社会人」になれるように、まずは普段の学校生活を大事にしていきましょう。

過去の困った事例から、未来へ向かって ~進路担当を始めてから今までこんなことがありました~



挨拶について…

「おはようございます」、「ありがとうございました」、「お先に失礼いたします」、「よろしく願います」。卒業後の社会生活、職場実習に行ったときには、色々な人に出会い挨拶を交わします。また、お互いが気持ちよく仕事をしたり、気軽に仕事のやりとりをしたりする上では、挨拶するときの笑顔やお辞儀なども大切になります。

授業や進路面談をするときに現場での態度の育成や卒業後の職場生活での必要性から、挨拶の話をします。その中でこんなやりとりがありました。

- 「挨拶はちゃんとやっています。質問や報告もしています」との生徒の意見。
 「朝は声を出して「おはよう」と言っていますよ、挨拶はできると思うんですけど…」と保護者からの意見。
- 「挨拶できますよ。馬鹿にしないでください」との怒り気味の生徒の意見。

一方現場の方からは、挨拶について「あまりいい評価ができない」というようなお話をいただくことがありました。自己評価と現場での評価に差があるようでした。

実際の様子を確認すると、本人が挨拶をしている(しようとしている)ことは、間違いありませんでした。しかし…。

- ・通り過ぎてから声を掛ける。後ろから声を掛ける。
- ・挨拶のタイミングが合わず、相手に伝わらない。気付いてもらえない。
- ・機械音が大きい仕事場でお辞儀をしない(頭を下げない)ため、挨拶をしているかわからない。
- ・声が響きにくい(通りにくい)ため、声が届いていない。
- ・表情が硬く、怒っているよう、ふてくされているように見える。
- ・緊張しすぎて声が出せず、相手が待ちきれずにタイミングを失ってしまう。

等々。

多くの生徒を見てきた中では、他の様々な場面を目の当たりにしています。挨拶の言葉を行っているのは間違いないのですが、相手に伝わる、現場で認められるレベルに達していないことがあります。

逆にどんなときにも大きな声で挨拶してしまい、「そんなに大きな声でなくてもわかるから」と諭される場面もあります。

生徒によっては、声が出ない生徒もいましたが、自分からお辞儀をしたり、手を上げてアピールしたり、「おはよう」の相手の声がけに、にっこり笑顔で返して挨拶し、挨拶とわかってもらえるケースがあります。

社会に出たときには、人・場所・環境・場面・生活スタイル・約束事などにあわせて、相手に伝わる挨拶が求められます。

挨拶といっても、突然できるようになるわけではありません。
 「おはようございます」の言葉で考えても、

- ・言葉と内容の理解
- ・発音の仕方
- ・挨拶の内容にあった態度(姿勢や表情→お辞儀や笑顔)
- ・時間に合った内容の選択
- ・人に合わせた伝え方の選択(その日に会った回数)
- ・場面に応じた表現(相手が会話中の場合など)
- ・環境に合わせた発声量 等々



色々なことを身に付け、人・場所・環境・場面・生活スタイル・約束事などに合わせて「おはようございます」と相手に伝えることが必要です。

「たかが挨拶かもしれませんが。しかし「されど挨拶」です。先日卒業生がお世話になる会社の社長様のところに行ってきました。そこで卒業生に指導したことを教えていただきました。

「いいか、とにかく皆さんに、挨拶をしっかりすんだぞ」と、教えたところですわ。
人に好かれないと働けないですから」

どんな印象を持ってもらえるかと周囲から受け入れてもらえるか、かわいがってもらえるか、ひいては配慮や支援を受けやすくなるかを見通して、お声がけいただいたのだと思います。

周囲から“してもらおう”ばかりでなく、自分から“できることを発信していく”ことはとても重要なことです。

挨拶一つでも長い期間を掛けた、毎日の繰り返しが大切です。家庭・学校で日常的にできるように、相手に伝わる挨拶を、普段の所作として身に付けていけたらと思います。



保護者の皆様へ 子どもたちの進路実現に向けて

生徒の進路については、色々悩みがつきものです。

今の時代、就職をする上では大学生でも保護者に支援を求められます。定着難という事情もあり、企業でも、福祉サービスでも本人・保護者に対する視線は厳しい状況です。障がいがあるから“願えば、叶う”、“何とかしてもらえる”ということではありません。希望する進路先につながるには福祉サービスの利用も企業就労も保護者の支援は大切です。

一般の高校のように生徒自身が将来を考え、必要なことを準備していくことを当校の生徒たちに求めるのは大変なことだと思います。お子さんと一緒に保護者が進路の実情を理解した上で、希望と実態を基に考えたり、願いが叶うように準備をしたり、適性や課題について教員に相談したりとお子さんに合った進路実現に向けて、積極的に進路に関わることをしていただきたいです。

ある保護者とのお話の中で…

「1年生の時から進路教室に出ていて良かったです。入学した時に将来を考えるとどうなるか全然分からなかった。進路だよりや資料を見るけれど分からない言葉(専門用語)も多いし、実情が分からないことが多かった。進路教室に出ることで、色々な実習先の写真が見れて、事業所の様子(業務内容や雰囲気、求められること)や社会のこと、言葉のことなど、分からないこと、知りたいことが分かるようになりました。出たことない人は、大丈夫なのかなと心配になりました」



卒業後の一番の支援者・理解者は、ご家族です。保護者の方々からも、在学中から積極的に関わっていただき、情報を集め、進路を考えて欲しいです。そしてたくさんの支援者がいる今、みんなで進路実現に向けて協力していけたらと思います。

次ページで毎年行っている進路教室のご案内をさせていただきます。進路に関わる情報を得たり、考える機会になるかと思っておりますので是非ご参加ください。

また、分からないことがあれば、いつでも聞いて下さい。進路指導部で全保護者向けにお話をする時は、企業就労から介護事業所まで幅広くお話することになり、情報量が多すぎてしまうことがあります。個別に聞いていただくことで、お子さんの実態や居住地事情に合ったお話ができます。ちょっとした疑問でもぜひお声がけいただければと思います。

新潟県立小出特別支援学校 川西分校 進路教室のご案内

特別支援学校を卒業すると多くの子どもたちが“社会人”としての生活を送ります。『進路教室』では、その“社会人”としての生活を考え、現状を知り、在学中に何を考え取り組むべきか、保護者や地域の皆さまと一緒に話ができたらと思っています。

今年度は、実際の現場の様子を写真や映像を通してお伝えする予定です。実際の様子を見ていただきながら、参加される皆さんの「？」と一緒に考えていける会にしたいと考えています。お子さんの将来について、みんなで考えていきましょう。

平成28年度の開催予定

日時：下記の日 午後1：30～3：00
場所：小出特別支援学校川西分校 3階作業室

※予定する内容をお示していますが、内容の追加や変更をする場合があります。

	期 日	予定する内容	重点対象
1 学 期	5月20日 (金)	・卒業後の生活と現場の様子 ～卒業生の例・実習の写真・保護者から～	
	6月20日 (月)	・現場実習の取り組みについて ～仕組みと様子～ ・保護者として取り組んでもらいたいこと	1年生
	7月20日 (月)	・社会生活の様子と在学中に取り組むべきこと ～卒業生の保護者を交えて～	
	8月 未定	・外部講師による研修 兼 PTA進路研修 ※テーマ・時間・場所は未定、進路だより等で お知らせします。外部からの参加も可能です。	
2 学 期	9月20日 (火)	・前期実習を通して、卒業後の生活に向けて求められること ～実習の写真をを通して～ ・福祉手当や制度 ～卒業後の生活・手帳の取得と更新～	
	10月20日 (木)	・後期ふれあいジョブの様子 ～写真を通して～ ・進路先への手続き、手順について ・後期(卒業まで)に身に付けること	3年生
	11月 未定	・事業所の見学 兼 PTA進路研修 ※時間・場所は未定です。進路だより等でお知らせし ます。当校PTAのみの参加になります。	
3 学 期	1月26日 (木)	・後期実習の様子から学ぶこと ～写真を通して～ ・3学期の取組と来年度の見通し	
	2月20日 (月)	・進路決定に向けて4月からの取組 ・就労継続支援B型の利用に向けて	2年生

＜参加について＞

今年度、特に聞いていただきたい学年については「重点学年」としてはいますが、参加の制限はありません。申込は不要です。11月の事業所見学のみの、当校PTAを参加対象とさせていただきます。

地域の方々からも参加可能です。小学校や中学校の時から将来を考えることは大切ですので、ぜひご参加ください。心よりお待ちしております。

今年度もよろしく願います。不明な点があれば、いつでもお問い合わせください。

新潟県立小出特別支援学校川西分校

TEL 025-768-3325

FAX 025-768-3371

担当：進路指導部 細井哲明 佐藤正高

